

第③回 地域なんでも労働相談会開催!!

新聞やニュースで、景気や企業業績が回復傾向にあると言われてはいますが、依然として労働を取り巻く環境は、まだまだ厳しいものがあります。

労働組合があれば、労働条件や雇用問題について経営者側との交渉もできますが、労働組合の無い職場では、問題があっても経営者（上司）と交渉も難しく、一人で悩んだり泣き寝入りが多いのではないのでしょうか。

特に、先行き不透明な中で企業が正社員の採用を抑え、パートや派遣社員などに代える動きが加速しており、みなさんの職場にもパート社員などが必ず一人か二人はいると思います。

こうした中で正社員であっても、いつリストラされるかと、不安を抱える方もいると思います。



そんな労働組合の無い職場で働く方々を対象に、連合群馬は各地域協議会の協力を得て、8月に第3回地域なんでも労働相談会を開催します。

みなさんご家族や友人で、労働に関わる問題で悩んでいる方はいませんか？

そんな方には、是非相談会を紹介してください。連合群馬は、相談を受け問題の解決を図ります。

（記）

日程：2004年8月21日（土）～22日（日）

時間：AM10時～PM5時

会場：各地域協議会設定会場 ※決定次第周知します

連合群馬の労働相談ワースト3

順位	相談内容
1	時間外・休日出勤手当の不払い
2	解雇、退職強要
3	長時間労働、年次有給休暇取得

とっておきの散歩道

No.9

東京都のNPO活動として、子ども電話相談を行っている人のインタビューをテレビで見ました。

コメントを要約すると「最近では、家にも学校にも居場所がない。と言うことを相談してきます。『一人で電話しているの?』と聞くと、『家の人がそばにいる』と答えます。『お父さんやお母さんと、居場所のない寂しさとか不安感について話したの?』と聞くと、『話していない』との答えが返ってきます。』ということでした。

～さて今回は、

「相談」が必要な時代になりましたー相談のお話ー

電話をかけてくる子どもの気持ちや、家族ではなく電話相談に心の内を話していることを、家族はどんな気持ちで受け止めているのかと思いました。

しかし、こうしたことは子どもに限ったことではなく、時代の特徴のような気もしてきます。そして、家族や友人や同僚な

ども、相談できない人たちが増えているということなのかなとも思いました。

相談は一方的には成立しないので、「相談したい」と言い出せない人と「相談にのろうか」と言い出さない人が少なからず増えているということであり、社会の閉塞感が人々のコミュニケーションにまで、暗い影を落としているということでしょうか???

さて、連合群馬でも産別・地協など多くのみなさんに協力をいただきながら「なんでも労働相談」に取り組んでいます。（ちなみに今年の1月～5月末までにキャンペーン期間を含めた相談は、昨年の2倍の150件を数えました。）

これからは、子どもや私たち勤労者、そして高齢者の方まで、あらゆる領域での専門的な相談機関の必要性が、より一層高まるのではないかと思います。（萌）



編集後記

構成組織組合員の皆さん!

2ページでもお伝えしましたが、たくさんの千羽鶴を折っていただき、ありがとうございます。

集まった千羽鶴は、沖縄・広島・長崎の各平和集会所へ、連合群馬代表派遣団がお届けします。

平和に対する願いは届け!

折鶴は平和のシンボルです。

イ姉

国民の七割が見送るべきとした年金法案が、与党の強行採決により国会を通過した。将来に憂いを残す法案は、抜本改正により修正を行うほかはない。

審議途中の党首討論で、民主党・岡田代表の追及に対し、小泉総理の「仕事をしなくても良いと言っただから、何か問題があるんですか」。色んな社員がいていいじゃないですかーとの開き直り発言に、あきれ返った人は多いはずだ。

失業者・フリーターなど働きたくても働けない人々は、どんな思いでこの言葉を聞いたであろうか。一国の総理大臣として誠に情けないと岡田代表も指摘していたが、議員としての資格もなく、国会に席を置くべき人間でないと痛切に感じた。

国民の怒りを小泉首相に感じてもらうには、参院選で連合推薦候補の勝利を勝ち取り、自民党を敗北に追込むしかない。

せいのんのひばり